

2022年8月9日

日建連表彰2022「土木賞」「BCS賞」全27件を決定

日建連表彰は、土木分野の「土木賞」と建築分野の「BCS賞」により構成する新たな表彰制度として2019年に創設した制度です。第3回目となる日建連表彰は、1月より募集を開始し、土木賞には41件、BCS賞には78件の応募がありました。

2月より各分野において選考を進め、8月4日の日建連表彰委員会(委員長:押味至一(鹿島建設会長))において、土木賞の受賞プロジェクト・構造物を12件(特別賞2件を含む)、BCS賞の受賞作品を15件、合わせて全27件を決定いたしました。

表彰式は下記日程で開催予定です。

記

【 日建連表彰 】

第3回土木賞	12件	(特別賞2件を含む)
第63回BCS賞	15件	

※ 詳細は別紙を参照

【 表彰式 】

日時:2022年11月25日(金)

表彰式 :16:00~17:30 (予定) ※時間変動の可能性あり

祝賀会 :17:30~19:00 (予定) ※開催の可能性も含めて未定

会場:The Okura Tokyo (東京都港区虎ノ門2-10-4)

※ 開催時間、方法、祝賀会の開催有無については、
新型コロナの感染状況を見て10月頃に判断

以上

(本件に関する問い合わせ先)

一般社団法人 日本建設業連合会(東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館8F)

表彰式等:企画調整部(中井・泉澤:03-3553-0703)

土木賞:土木第一部(小川:03-3552-3201)、BCS賞:建築部(高橋・染谷:03-3551-1118)

■日建連表彰2022 受賞一覧

(五十音順)

第3回土木賞

一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事
(北海道中川郡音威子府村)

千本ダム耐震補強改修プロジェクト
(島根県松江市)

相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事
(神奈川県横浜市)

高尾川地下河川整備事業
(福岡県筑紫野市)

東京港臨港道路南北線沈埋函
(4号函・5号函・6号函) 製作・築造等工事
(東京都江東区)

東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事
(東京都渋谷区)

東北自動車道
十和田管内高速道路リニューアル工事
(岩手県八幡平市～青森県平川市)

発電所水圧鉄管路のTBMによる
斜坑掘削プロジェクト(神流川発電所)
(群馬県多野郡上野村)

阪神高速12号守口線床版更新工事
(大阪府大阪市)

山須原発電所ダム通砂対策工事のうち土木工事
(宮崎県東臼杵郡美郷町)

- 特別賞 -

史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事
(鳥取県鳥取市)

- 特別賞 -

浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業
浜松防潮堤建設工事
(静岡県浜松市)

第63回BCS賞

熊本城特別見学通路
(熊本県熊本市)

熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業
(熊本県熊本市)

GREEN SPRINGS
(東京都立川市)

国立競技場
(東京都新宿区、渋谷区)

THE HIRAMATSU 京都
(京都府京都市)

三栄建設 鉄構事業本部新事務所
(大阪府大阪市)

ダイヤゲート池袋
(東京都豊島区)

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館
(石川県金沢市)

東京大学総合図書館
(東京都文京区)

東京都公文書館
(東京都国分寺市)

長野県立美術館
(長野県長野市)

延岡駅周辺整備プロジェクト
(宮崎県延岡市)

Hareza 池袋
(東京都豊島区)

横浜市庁舎
(神奈川県横浜市)

早稲田大学37号館 早稲田アリーナ
(東京都新宿区)

■日建連表彰2022 選考過程及び概要

－ 第3回土木賞 －

- ▶ 今年度で第3回目となる土木賞は、北海道から九州の全国各地から41件の応募があり、このたび、選考委員会による第一次選考（書類による選考）、第二次選考（現地調査及び応募者によるプレゼンテーション）を経て、12件のプロジェクト・構造物を決定しました。
- ▶ 土木賞には、第1回、第2回と同様、土木賞のコンセプトである「施工プロセス」の視点から、生産性向上を実現した新規プロジェクト、住宅密集や鉄道交差、脆弱な地質や海中下等による厳しい制約条件を克服した工事、技術力が試されるダム再開発、高速道路の更新や鉄道の移設といったリニューアル工事などが選定されました。
- ▶ 各案件とも様々な課題を克服するために関係者が一丸となって取り組んだ「施工プロセス」が評価されるとともに、ICTや新工法の活用、既存構造物の性能・機能の向上、地域環境との融和など、社会的な課題、時代の要請に対応した事業が選ばれているという特徴も見られます。
- ▶ また、特別賞には、技術の伝承と現代的手法を用いたハイブリッド構造により、歴史的構造物の忠実な再現と耐震性を有する現代的な社会インフラとしての実用性を両立した、明治元年架橋の木造アーチ橋復元工事、地元市民を含む多様なステークホルダーとの協力により、巨大地震に備えて防潮堤を造り今後の地域防災の取組みに大きな影響を与えた事業の2案件が選出されました。

－ 第63回BCS賞 －

- ▶ 第63回BCS賞には、多くの地域から、78件の応募がありました。建物用途は複合施設(14件)が最多で、そのほか、学校施設(11件)、事務所ビル(10件)、官公庁舎等施設(9件)、ホテル(5件)、図書館、スポーツ施設(各4件)、病院・医療施設(3件)、博物館、美術館、文化会館、劇場、商業施設、福祉施設、工場等となっています。
- ▶ BCS賞の選考は、まず選考委員12名による第一次選考が実施され、第一次選考を通過した作品に対して、選考委員による現地調査と学識委員による専門分野評価を実施いたしました。
- ▶ 今回もコロナ禍での現地調査となりましたが、現地での建築主、設計者、施工者等からの実際の作品に即した説明や質疑を踏まえ、選考委員全員による合議での厳正かつ詳細な審査が行われ、多彩な用途の受賞作品15件が選ばれました。
- ▶ BCS賞の特色の一つは建築主・設計者・施工者による「三位一体」を重視するところがありますが、今回も、建築主の熱い想いを設計者・施工者がその技術や叡智を結集して具現化した作品が多くありました。特に、利用者に寄り添い、配慮された建築物や、エネルギー効率や自然共生に配慮された建築物が多く選ばれ、建築文化の進展に寄与する意欲的な作品が選出されました。